

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化器内科講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年11月 福島県立医科大学 医学部 消化器内科学講座 准教授
阿部 和道

【研究課題名】サルコペニアによる慢性肝疾患・肝細胞癌への影響についての検討

【研究期間】2019年11月（承認後） ～ 2027年3月31日

【研究の意義・目的】

1989年に人間の老化に伴う骨格筋量の低下をサルコペニアと提案され、近年では肝疾患を含めた様々な領域においてサルコペニアとの関係性が注目されています。

慢性肝疾患では、慢性肝炎と比べて肝硬変で明らかにサルコペニアである確率が高く、肝硬変患者においてもサルコペニアは寿命短縮の要因とされています。肝硬変に対する肝移植術においても生存期間がサルコペニア群で不良であった、と報告されています。

肝細胞癌でも手術や経カテーテル治療（肝動脈化学塞栓療法）、抗癌剤、肝移植術を施行した際の生存期間や再発率において、サルコペニア群は非サルコペニア群と比較して成績が不良であった、と報告されています。

近年では新規分子標的薬であるレンバチニブが肝細胞癌に対して承認されたほか、免疫チェックポイント阻害薬など新たな薬剤が承認される見込みとなっており、肝細胞癌に対する治療法は大きく変化する時期となっております。

本研究はサルコペニアによる慢性肝疾患や肝細胞癌への影響について検討し、これらの疾患の治療における位置づけをより明確にすることを目的としています。

【研究の対象となる方】

対象は2006年4月～2025年12月に当院で新規で治療を受けた慢性肝疾患（慢性肝炎、肝硬変など）や肝細胞癌の患者さん。

他の医療機関で慢性肝疾患や肝細胞癌に対して治療を受けた患者や他の医療機関に転医し経過が分からない方は対象としません。

【研究の方法】

主な調査項目は生存期間、治療期間（カテーテル治療や薬物治療などを継続して行った期間）や治療回数、年齢、性別、発癌の原因となった肝疾患、肝予備能（肝臓の体力のこと）とします。

サルコペニアか調べる方法について、日本肝臓学会は第3腰椎レベルでの腸腰筋の縦径×横径の左右合計を身長²で割った値（男性 6.0 cm²/m²、女性 4.0 cm²/m²未満でサルコペニア群と診断）が簡易な測定法として示しており、今回の研究では経カテーテル治療の際に撮影したCTで上記の値を測定・計算し判別することとしました。

【研究組織】

| | | | | |
|-------|---------|----------|--------|-----------|
| 研究責任者 | （所属）医学部 | 消化器内科学講座 | （職）准教授 | （氏名）阿部 和道 |
| 研究分担者 | （所属）医学部 | 消化器内科学講座 | （職）助教 | （氏名）藤田 将史 |
| | （所属）医学部 | 消化器内科学講座 | （職）助手 | （氏名）阿部 直人 |
| | （所属）医学部 | 消化器内科学講座 | （職）助手 | （氏名）菅谷 竜朗 |
| | （所属）医学部 | 消化器内科学講座 | （職）助教 | （氏名）林 学 |

【他の機関等への試料等の提供について】

該当しない

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 藤田将史
電話:024-547-1202 FAX: 024-547-2055
E-mail:mfujita@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 藤田将史
電話:024-547-1202 FAX: 024-547-2055
E-mail:mfujita@fmu.ac.jp